

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 6 年 8 月 1 日 至 令和 7 年 7 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 横田内科医院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 山口県岩国市南岩国町 4-57-10

(3) 設立認可年月日 平成 1 2 年 9 月 2 6 日

(4) 設立登記年月日 平成 1 2 年 9 月 1 日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開 設 場 所	許可病床数
診療所	横田内科医院	3 5 1 0 8 1 2 4 1 9	山口県岩国市南岩国町 4-57-10	該当なし

注) 1. 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)

なし

(3) 収益事業

なし

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 6 年 9 月 2 5 日 令和 5 年度決算の決定

様式2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 横田内科医院

所在地 岩国市南岩国町4丁目57番10号

財 産 目 録

(令和 7 年 7 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	47,371 千円
2. 負 債 額	29,568 千円
3. 純 資 産 額	17,803 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	27,400
B 固 定 資 産	19,971
C 資 産 合 計 (A + B)	47,371
D 負 債 合 計	29,568
E 純 資 産 (C - D)	17,803

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する蘭の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式3-2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 横田内科医院

所在地 岩国市南岩国町4丁目57番10号

貸 借 対 照 表

(令和 7年7月31日現在)

(内 訳)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	27,400	I 流動負債	29,568
II 固定資産	19,971	II 固定負債	
1 有形固定資産	14,165	(うち医療機関債)	0
2 無形固定資産	549	負債合計	29,568
3 その他の資産	5,257	純資産の部	
(うち保有医療機関債)	0	科 目	金 額
		I 出資金	8,000
		II 積立金	
		III 評価・換算差額等	9,803
		純資産合計	17,803
資産合計	47,371	負債・純資産合計	47,371

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに
出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式4-2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 横田内科医院

所在地 岩国市南岩国町4丁目57番10号

損 益 計 算 書

(自 令和 6年8月1日 至 令和 7年7月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損金	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	95,246
2 事業費用	101,191
本来業務事業損失	5,945
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	0
事業損失	5,945
II 事業外収益	4,287
III 事業外費用	2,108
経常損失	3,766
IV 特別利益	
V 特別損失	
税引前当期純損失	3,766
法人税等充当金	71
当期純損失	3,837

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 横田内科医院

理事長 横田 崇 殿

私（注 1）は、医療法人横田内科医院の令和 6 会計年度（令和 6 年 8 月 1 日から令和 7 年 7 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 7 年 9 月 2 5 日

医療法人横田内科医院

監事 藤原美穂

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第 51 条第 2 項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第 3 条に規定する重要な会計方針の記載及び第 22 条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする様式 6